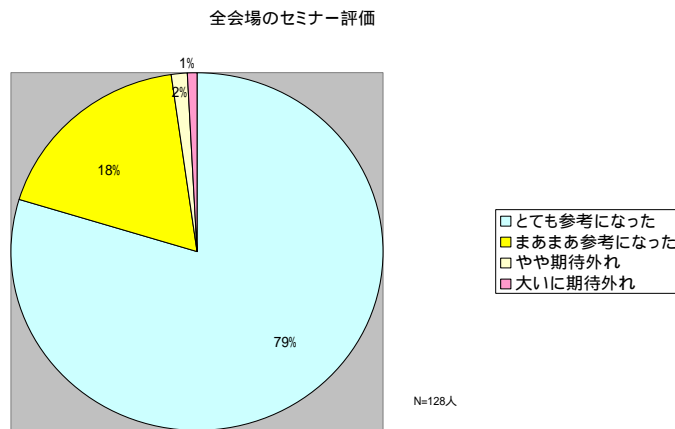
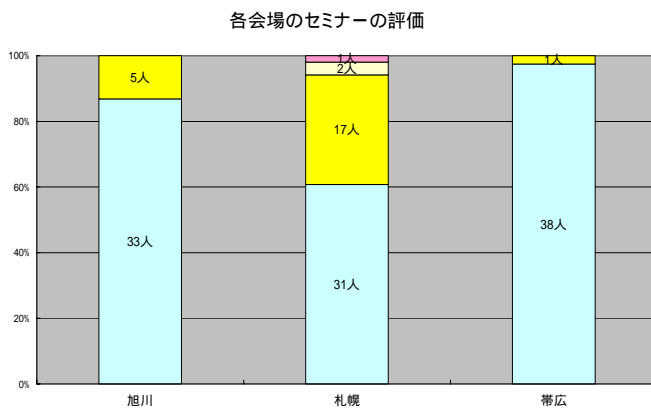


万引防止実践講座北海道シリーズの結果（速報）

2009年10月14日（水）帯広、15日（木）札幌、16日（金）旭川で行われた万引防止実践のアンケート結果をまとめました。



セミナーに関する評価では「まあまあ良かった」と「とても参考になった」の合計で97%の評価をいただきました。しかし、札幌会場に関しては、警備関係のプロや本部関係者から「大いに期待はずれ」等の厳しい評価いただいております。なお、2月に行った西日本縦断シリーズの同数値は92%でしたので5%アップの評価となっております。



捕捉ロールプレイング(札幌会場)

【アンケートや直接いただいたご意見】

- ・ エコバック対策やいろんな万引事例紹介にもっと時間をかけて説明してほしい。
- ・ 不明ロス削減の具体的な対策事例を紹介してほしい。継続的にロスを削減したいので。
- ・ 防犯機器等の上手な活用方法。できれば他社の事例で紹介してほしい。
- ・ 万引を決める割合が入店してから80%なので、お声かけ等の万引をさせなく店作りを強化したい。
- ・ 受講者にもよるが、午前中の一般的な防犯理論の講義は短くした方が良い。

【各会場で共通した質問内容】

痴呆や精神異常の常習万引者が再三、万引を繰り返すので困っています。店舗に入れない方法はありませんか？

対応例：万引きを繰り返す相手が、痴呆や精神異常であったとしても、万引きをした場合の対応は、原則として、警察の臨場を依頼し、引き渡すということに変わりはないと考えます。

但し、万引きすることをわかっていて、見過ごすことも不自然なので、声をかけて帰ってもらう必要があります。また、ご家族に連絡して出入りしないように注意を払ってもらうことも必要であると考えます。この消極的な方法ではやめさせることができない場合は、店舗の施設管理権に基づき、社会通念上妥当な範囲で、かつ、攻撃的、積極的性質ではない実力をもって、入場を阻止することも検討しなければなりません。この場合、あらかじめ、ご家族や所轄の警察署に相談するなど、トラブルにならないように配慮することが必要です。

以上です。